

## 令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
		全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4170 松くい虫防除対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費											
	事業	020000 松くい虫防除対策事業											
事業目的							事業概要・効果						
松林に甚大な被害を与えるマツノザイセンチュウの媒介であるマツノマダラカミキリの発生防止のため、薬剤散布及び被害木の早期駆除を行う。							赤松は臥竜山などの積悪な土壌にも育成し、土砂の流出防止、崩壊防止等山林の保全に重要な役割を果たしている。被害防止の充実に図ることにより、森林の公益的機能を維持、保全する。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
被害木伐倒駆除事業 756m <sup>3</sup> 881本 地上薬剤散布事業 18.36ha	被害木伐倒駆除事業 480m <sup>3</sup> 480本 地上薬剤散布事業 18.36ha
平成29年度 実績	平成30年度 実績
松くい虫被害木伐倒駆除事業 495.28m <sup>3</sup> 678本 地上薬剤散布事業 18.36ha	松くい虫被害木伐倒駆除事業 470m <sup>3</sup> 600本 地上薬剤散布事業 18.36ha
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
松くい虫被害木伐倒駆除事業 484.37m <sup>3</sup> 565本 地上薬剤散布事業 18.36ha	松くい虫被害木伐倒駆除事業 490m <sup>3</sup> 570本 地上薬剤散布事業 18.36ha

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		16,999	17,020
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	10,670	9,251
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,329	7,769
人員数(人)	正規職員	0.2	0.4
	嘱託職員	0.2	0.0
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	1,453.0	2,906.0
	嘱託職員	565.8	0.0
	臨時職員	259.6	259.6
	計	2,278.4	3,165.6
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		19,277.4	20,185.6

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	16,999	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除16,999
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	17,000	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除17,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	松くい虫防除事業補助金（文化財等）20
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	森林が持つ公益的機能の維持、保全するため、松くい虫による被害拡大防止を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	須坂市における松くい虫被害は、まだ点状に発生している状況で、面的な発生には至っていない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国庫補助事業を活用し、地上薬剤散布及び被害木の伐倒駆除を進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

被害を完全に撲滅させることは難しい状況にある。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>景観上、市民の関心が高いが、防除に事業費が追い付いていないのが現状、松くい虫被害の防除は継続的に実施する必要がある。</p>		<p>継続した早期の伐倒駆除が必要。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	